

2010・11・16

奈良県とNPOとの協働事業

奈良らしい景観を共に創ろう 「県民景観学校」

県民景観学校運営委員会

奈良デザイン協会

社団法人 奈良まちづくりセンター
政策研究ネットワーク「なら・未来」

社団法人 奈良県建築士会

奈良県風致景観課



景観学校を 開校しようとした理由

- ・歴史的地域の景観は比較的保全されているが表玄関である駅前や国道は悪化
- ・観光産業にも影響
- ・住民の精神性にも影響
- ・景観法など法律・条例や行政の力だけでは弱い
- ・住民の意識向上と景観行政に対する協働が必要



住民と行政が共に景観を考えてみよう 「県民景観学校」を開校

奈良県とNPOとの協働事業に応募、選考会を経て受託、経費823,400円

会場：奈良県立大学（奈良市船橋町）

日時：平成21年10月4日間

受講費：無料

運営主体：県民景観学校運営委員会

奈良デザイン協会、社団法人奈良まちづくりセンター、
政策研究ネットワーク「なら・未来」、
社団法人奈良県建築士会、奈良県風致景観課で構成
(運営及び指導アドバイザーの役割を担う)

受講者：

県民だより・HPなどで公募、企業関係団体に直接案内

県民30名（内議員2名、景観関係企業1名）


景観に意見を持つ高齢者が比較的多い

行政11名（奈良県、奈良市、大和郡山市、橿原市、桜井市）

運営委員13名 計54名

景観の現状、本講座の進め方などを理解してもらうため、まず教科書作りを行い、事前配布

県民景観学校テキスト



2009. 10. 4

1-3 景観の現状

景観を構成する要素は多岐にわたります。自然、建築物、植栽、地形、気候などによって、各地域で異なる景観が形成されています。本講座では、これらの景観をどのように捉え、評価し、改善していくかを学びます。



1. 自然景観の現状
2. 建築物の現状
3. 植栽の現状
4. 地形・気候の現状

また、景観を構成する要素は多岐にわたります。自然、建築物、植栽、地形、気候などによって、各地域で異なる景観が形成されています。本講座では、これらの景観をどのように捉え、評価し、改善していくかを学びます。

1-4 景観の現状

景観を構成する要素は多岐にわたります。自然、建築物、植栽、地形、気候などによって、各地域で異なる景観が形成されています。本講座では、これらの景観をどのように捉え、評価し、改善していくかを学びます。



1. 自然景観の現状
2. 建築物の現状
3. 植栽の現状
4. 地形・気候の現状

2-1 景観の現状

景観を構成する要素は多岐にわたります。自然、建築物、植栽、地形、気候などによって、各地域で異なる景観が形成されています。本講座では、これらの景観をどのように捉え、評価し、改善していくかを学びます。



1. 自然景観の現状
2. 建築物の現状
3. 植栽の現状
4. 地形・気候の現状

2-2 景観の現状

景観を構成する要素は多岐にわたります。自然、建築物、植栽、地形、気候などによって、各地域で異なる景観が形成されています。本講座では、これらの景観をどのように捉え、評価し、改善していくかを学びます。



1. 自然景観の現状
2. 建築物の現状
3. 植栽の現状
4. 地形・気候の現状

2-3 景観の現状


景観を構成する要素は多岐にわたります。自然、建築物、植栽、地形、気候などによって、各地域で異なる景観が形成されています。本講座では、これらの景観をどのように捉え、評価し、改善していくかを学びます。



1. 自然景観の現状
2. 建築物の現状
3. 植栽の現状
4. 地形・気候の現状

2-4 景観の現状

景観を構成する要素は多岐にわたります。自然、建築物、植栽、地形、気候などによって、各地域で異なる景観が形成されています。本講座では、これらの景観をどのように捉え、評価し、改善していくかを学びます。



1. 自然景観の現状
2. 建築物の現状
3. 植栽の現状
4. 地形・気候の現状

「県民景観学校」学習内容：1日目

奈良の歴史的環境にふさわしく、人が心地よいと感じられる景観をテーマに、
歴史的地域周辺の幹線道路沿道や駅前景観を対象とした

・開講式・オリエンテーション・講座

「奈良県の景観の現状と課題」奈良県風致景観課主幹 西山恵三氏

・ワークショップ＝景観現地調査

歴史遺産周辺駅前や幹線道路の
看板、建物などの景観が
奈良にふさわしいかを
Aコース、Bコース6班に分かれ現地調査



ワークショップ 「景観調査」

Aコース 奈良市、大和郡山市、斑鳩町、河合町方面景観調査ポイント

・歴史的地域の幹線道路景観、駅前景観と眺望景観を調査した。
・良いと思われる景観、悪いと思われる景観がある

2 大和郡山市間町(いんち)周辺

道路拡張工事による地下道をイメージした新しい街並景観



3 9号線大和郡山市
甲斐の宮地先西池周辺

道路から池を透して見る
奈良盆地の風景



4 斑鳩町法起寺周辺

法起寺の三重塔と
後方に広がる斑鳩の原風景



5 JR法隆寺駅舎と
北口前広場周辺

法隆寺を意識した駅舎と
狭くイメージのない北口



6 河合町法隆寺IC周辺

世界遺産への無料ICゲートと
パチンコ屋、ホテル、GSなどのあり方



1 奈良市大宮通り朱雀門附近

平城京のイメージを感じさせない沿道景観



10 近鉄奈良駅前周辺

奈良の表玄関としてのあり方が
問われる



9 JR奈良駅前周辺

奈良の表玄関としての
あり方が問われる



8 奈良市24号線
柏木町周辺

パチンコ、電器、
カラオケ等が
大ブロックで集積している



7 25号線大和郡山市小泉南～筒井周辺

2つの世界遺産法隆寺地域・古都奈良市をつなぐ
東西幹線道路としてのあり方



● 24号線、周辺景観 ● 10-13号線

ワークショップ 「景観調査」

Bコース 橿原市、桜井市、天理市方面景観調査ポイント

・歴史的地域の幹線道路景観、駅前景観と眺望景観を調査した。
・良いと思われる景観、悪いと思われる景観がある

1 京奈和道大和郡山～橿原

高速道から眼下に広がる大和南郷と大和三山
新しい奈良の眺望景観



2 橿原市24号線
十市橋周辺

パチンコ、カラオケ屋など
あらゆる商業施設が集中
県下で最も乱雑な沿道



3 橿原市24号線
三山橋北詰周辺

ぼろ小屋を青い物にした
レストランが目玉



4 近鉄八木駅
北口前広場

緑色の駐車場と雑居ビルと看板



8 天理市25号線
川原城町付近

天理市の本であるイチヨウ並木
が美しい



7 天理市169号線
景行天皇陵
崇神天皇陵周辺

山の斜面に沿った幹線道路
東側には景行天皇陵・崇神天皇陵
西側には二上山が望まれる



6 桜井市169号線
千国町周辺

三輪山と大神神社の鳥居
広がる田園
残された大和の原風景



5 橿原市165号線法花寺周辺

道路からは大和三山も
緑茶田跡も見えない、感じない



● 24号線、周辺景観 ● 10-13号線

「県民景観学校」学習内容：2日目

・ワークショップ = 現地調査結果のまとめと発表

良いと思った景観と悪いと思った景観を分類、その理由を課題シートにまとめチーム毎に発表



景観現地調査のまとめ・課題の多い景観

駅前や幹線道路沿いの看板、建物の色・形



橿原市24号線十一橋周辺

景観現地調査のまとめ・課題の多い景観

奈良らしくない**品格に欠ける街並み**



奈良市大宮通り朱雀門前

景観現地調査のまとめ・課題の多い景観

大和三山が見えない・・・眺望景観



檀原市154号線出合周辺

景観現地調査のまとめ・保全したい景観

三輪山が見える道沿い



桜井市169号千国町周辺

景観現地調査のまとめ・保全したい景観

大和青垣が見えるため池



大和郡山市甲斐宮西池

「県民景観学校」学習内容：3日目

- **ワークショップ = 課題の解決策を作成**

駅前や幹線道路景観の課題を討議し、どのようにすれば、奈良にふさわしく心地よい景観になるか、写真の上に色紙などを使って解決修正案を作成



受講者発表例 Aコース・JR奈良駅前

JR奈良駅前



近畿の中で最悪。
品格がない

現状：奈良に来た気がしない

三条通り
車通りが
多い

奈良味を
感じない
↓
来訪者
奈良のイメージ
(若草山を
見たい)

解決策：駅に立てば奈良らしさが見える景観へ



受講者発表例 Bコース・檀原市内

現状：看板がひしめきあっている

檀原市内165号法花寺付近

電柱・電線が空間を分断。
遠くの青垣の山並みも見えない。

敷地の緑
街路樹の
緑が
少なすぎる。



看板が
ひしめきあっ
ている。
・数が多い
・形状・色
がバラバラ
・流石な
色彩
・母屋の
(のり)

大和三山一帯を3種活用創出 (2000年12月現在)
休む、遊ぶ、食べる、買う、住む。



・看板の
・大きさ
・色
・形状と
・緑色
・遮る
・企業色
・のり
・のり
敷地内の
緑地に
樹木を植える。

解決策：大和三山が見える工夫

課題解決①-1(2)
165号線 法花寺周辺



・看板の位置を平均的に取り直し、
・街道の植樹の利便性を高め、緑と景観を
電柱の撤去し、
・赤や青の空の統一を図る。



B-1班 竹田真実 寺田 大和地区 法花寺 165号線
大和地区 法花寺 165号線



「県民景観学校」学習内容：4日目

成果発表会とシンポジウム

「奈良の歴史的地域の沿道・駅前景観の課題とモデルデザイン」

行政 奈良県風致景観課主幹 西山恵三氏、奈良市景観課課長 西田稔氏

議員 奈良市会議員 植村佳史氏、斑鳩町議 小林 誠氏

運営団体 奈良デザイン協会会長 大西治雄氏

講評 大阪大学名誉教授 鳴海邦碩先生

修了式

受講生に修了証を発行し、
今後も奈良県景観づくりに寄与していただく



報告書の作成

歴史的環境を持する県内外自治体地域企業や国土交通省、環境庁などへ配布



ワークショップ「現地調査結果と課題」

2021年10月10日(土)PM 1:00～PM 5:00
 「前期の現地調査に基づいて、心地よいと感じるものと、よくないと感じるものを分類し、その理由は何かを考案、まとめる。まとめたものを課題シートに整理し、各組ごとに発表」

「課題シート」発表の一例(Aコース)



「Aコース」JR奈良駅前「駅前の看板や建物は品物がなく、正装で参集した古物のイメージが課題」(A2チーム)



「Aコース」奈良県庁「奈良県庁の建物は品物がなく、正装で参集した古物のイメージが課題」(A3チーム)

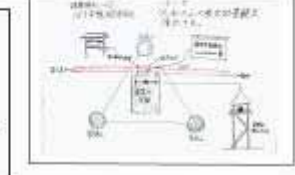


「Aコース」大和郡大和町「大和郡大和町の建物は品物がなく、正装で参集した古物のイメージが課題」(A1チーム)

ワークショップ・成果発表会「課題解決提案と意見交換」

B-1班 発表『大和三山の歴史的景観を演出する』(橿原市165号線法花寺周辺)

縁原町であるにもかかわらず、その景観を感じることができない。そこで大和三山の拠点視として見晴台・新し〜ウツノパークをつくり、景観のシンボルとする。これによって景観を演出し、同時に景観の地中化や緑地による潤いと落ち着きなどを演出。縁原町周辺のイメージ刷新や案内板の設置など、すべしであること、景観性の高い景観対策をもって縁原町の存在感を高める。



『緑を活かしたおもてなしの沿道景観』(天理市25号線川原町付近)

天理市内16号線、おもてなしの沿道景観事例。二のイサギの苗木は良い景観と評価して、さらに良くなる方法を提案。緑の効果を最大限に引き出す。景観が目立たない、良いという3点。

景観対策をのびす景観対策とするため、(仮称)景観対策委員会を設置して、景観対策の検討を推進する仕組みを検討していかたい。

景観対策

景観対策としての新しい景観対策について

一 大和三山を中心とした景観を演出する。縁原町の存在感を高め、お城の拠点になり得る。

一 縁原町の景観を演出する。縁原町の景観を演出する。縁原町の景観を演出する。

一 縁原町の景観を演出する。縁原町の景観を演出する。縁原町の景観を演出する。

一 縁原町の景観を演出する。縁原町の景観を演出する。縁原町の景観を演出する。

一 縁原町の景観を演出する。縁原町の景観を演出する。縁原町の景観を演出する。

一 縁原町の景観を演出する。縁原町の景観を演出する。縁原町の景観を演出する。

一 縁原町の景観を演出する。縁原町の景観を演出する。縁原町の景観を演出する。

県民景観学校の評価

・受講者

- ・奈良県の景観の現状を理解できた、行政と県民企業が協働すべき、今後も提案や発言をしたい
- ・知事や市長に直接言える場を、看板や沿道植栽などの専門チームを作ってほしい

・行政

- ・県民の意見を直接聞くことができた、解決策のなかには都市計画を根本から変える斬新な提案があった(奈良市)

・講評者(大阪大学名誉教授 鳴海先生)

- ・「守る景観」「育てる景観」「造る景観」のうち、奈良は守る景観と同時にその土地を良く知っている住民による育てる景観が重要なので今後もこのような取り組みが必要

運営委員会の感想

- ・高齡の受講者が多かったが景観の現場を見て、自分の眼と言葉で討議され、課題と解決策づくりに**熱心**に取り組まれたのは予想外の成果
- ・**反面企業からは反応なし**
- ・奈良市、斑鳩町議員が参加され、受講後景観行政に強い立場で参加されている

受講生を含めた住民の景観に対する意見は相当厳しい。歴史的景観は奈良の観光資産であると同時に住民に精神的な影響を及ぼすことを考え、このような「景観学校」の試みを今後は行政が主催継続し、住民との協働を図るべきである